
今日 の 力

2025年2月10日 ～ 2月16日

翻訳 キャンベル 栄子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

2月10日(月)

自分だけの幸せを越えて

聖書朗読 ルカの福音書 18:18～27

人の心には多くの計画がある。しかし主のはかりごとだけが成る。

箴言 19:21

聖書に登場するある役人は、自己流の最善な方法で神様にお仕えしたいと思いました。彼は神様に仕えつつ、今の裕福な生活も維持したいと考えました。貧しい人たちに施しをしたとしても、タダみたいなものです。快く思う程度の奉仕で、最高の奉仕ではありませんでした。

イエス様はその心を見抜き、全てを差し出さなさいと言われてますが、役人は自分の都合に合わせた奉仕以上のことはしませんでした。そこで、彼はイエス様に応えられず、『非常に悲しん』でそこを去っていきました。イエス様がこの若い役人の心を見られたように、私たちも自分の心を振り返ってみましょう。私たちが心底愛するものとは何でしょうか。イエス様に頼まれても、どうしても諦められない事がありますか。イエス様に引き渡すように言われてもできない事がありますか。それは物質的なものでしょうか。社会的な地位ですか。娯楽ですか。

その若い役人は、おそらくこれらの質問を自分に問いただしたことがなかったのでしょう。今日、あなたは自分の心の中が見えていますか。イエス様を信頼すること以上に自分が大事とする何かが、心の中に隠れていませんか。それを手放すことが出来るように主に祈りましょう。主は必ずあなたと共にいて導いて下さいます。

聖歌 541 みなささげまつり

祈り 愛する神様、あなたの祝福に境界線を引くことはしたくありません。あなたの愛とご生涯を見せて下さい。そして躊躇なくあなたに従えますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

フロリダ州 ジャクソンビル / アンドレア・ニモンズ・スミス

2月11日（火）

見守り、待ち、祈る

聖書朗読 ルカの福音書 22：47～53

目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。男らしく、強くありなさい。

コリント I 16：13

私たちの中に、目の前の困難を力任せに押し退けて突き進んでいくタイプの人はいいますか。今日の聖書の箇所は、ご存知の通り、ペテロが自分の剣を抜き、ローマ兵に突進して行く場面のことです。イエス様はこの件でペテロを厳しく叱責しました。イエス様が数時間前にゲツセマネの園で、ペテロに誘惑に陥らないように、見守り、待ち、祈っていなさいと言われたことを思い出してください。それなのに、ペテロは自分で問題解決しようと行動し、主から離れてしまったのです。

見守って待ちなさいとは、神様が私たちに求める中で最も困難な善行かもしれません。これまでの人生で私たちが犯した多くの過ちは、待ったり、見たり、祈ったりすることなく、衝動的に反応してしまった結果です。一瞬の軽率な行動、暴言や暴力で反発してしまった経験があるかもしれません。出来ることなら取り消したいと願うような過去の過ちです。ペテロのように、私たちが神様が私たちを通して働かれるのを待つ代わりに、自分の力で神様の御心に従おうと一生懸命になることがあります。見守って待ち祈ることをしないと、貴重な瞬間を台無しにするか、失ってしまうかもしれません。

しかし幸いな事に、神様は誠実な方で、私たちが作り出した状況をも神様の益のために、それを良いものに変えられるのです。今日から、見守り、待ち、祈りを捧げましょう。

神は常に私たちの魂の浅いところではなく、深いところで答えてくださいます

ーエイミー・カーマイケル（編注：プロテスタントの婦人宣教師 1867-1951）

聖歌 691 風はあれくるう

祈り お父様、今日、私はこの命をあなたに捧げます。私の進む道にあなたの導

きがありますように。その時を待つ間、あなたの平安が与えられますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / シェリー・リームズ

2月12日（水）

神様は私たちを癒したい

聖書朗読 ヨハネの福音書 4:16～26

たとえ悩みを受けても、主は、その豊かな恵みによって、あわれんでくださる。

哀歌 3：32

祈りを捧げようと腰をおろしたときに、思い出したくないことが頭に浮かんで来たことはありませんか。祈り始めた途端、自分が言ってしまった棘のある言葉、良くない態度、罪が頭の中をぐるぐる回ります。

これは神様が私たちを辱めるためにしているのではなく、私たちを癒すためにしてくださっています。神様は私たち以上に、私たちの心の傷の手当をしたいと願っておられます。私たちからすると、心の傷が悪化したとしても、ほっといて欲しいと思うでしょう。しかし神様は私たちを完全なものにしたいのです。これはイエス様がサマリヤの女性に彼女の夫のことを尋ねられた時なされたことです。イエス様は彼女の込み入った過去を知っておられました。辱めるためではなく、心の傷を癒そうとされたのです。

イエス様が彼女に『神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。』と言われたとき、真の自分で神様の前に出なければならぬと言われたのです。私たちはなりたいたいと思っている偽りの自分ではなく、ただ真実の自分で神様の前に出なければいけません。そして傷ついた自分を正直に神様に捧げる時に癒やされるのです。神様が私たちに足りない部分に気づかせてくださる時、その豊かな愛で赦してくださるものを教えてくださっているのです。

讚美歌 243 ああ、主のひとみ

祈り 主よ、罪深く^{ほころ}綻びたこの自分をあなたに捧げます。真の自分を教えてください。

それによって、めちゃくちゃな人生から完全な人生へと導いてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ノースキャロライナ州 ヘンダーソンビル / イーサンE・ブラウン

2月13日(木)

信じることから始まるイエス様との関係

聖書朗読 ヨハネの福音書 7:1~5

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

ヘブル 11:1

ヨハネの福音書1章から6章を読むと、イエス様の生涯にいくつかの出来事が起きます。弟子たちを選び、水をぶどう酒に変える奇跡、宮きよめ、ニコデモとの対面、サマリヤの女性との対話、多くの病人の癒し、5千人の給食、そして水の上を歩く奇跡です。

にもかかわらず、7章では、イエス様の兄弟たちが、ユダヤにいる弟子たちの所へ行って、これらの奇跡を見せなさいと言います。そしてイエス様に『自分を世に現しなさい』と続けます。兄弟たちは、イエス様の働きが秘密裏に行われるのではなく、公にされることを望んでいました。『兄弟たちもイエスを信じていなかったのである。』と5節ではこう締めくくられています。

イエス様の兄弟たちに足りないものは何でしょうか。それは信仰です。イエス様が教え癒しを行なわれる時は常に信仰に重きがおかれていました。なぜでしょう。それは、多くの奇跡を行ったところで、人々に信仰がない限り、奇跡を認めないのです。信仰とは『目に見えないものを確信させるものです。』奇跡は人々の関心を得ましたが、信仰こそが彼らを神様に導くものです。

私たちはイエス様の奇跡を知ることによって、それが起こったと信じる事ができます。しかし、神様とその御子に対する信仰を持つまでは、神様が私たちに望んでおられる神様との関係を知ることはできません。

讚美歌 270 信仰こそ旅路を

祈り 親愛なる主よ、私たちが読み信じる事ができる、あなたのみことばに感謝します。あなたとその愛に信仰を持つ事ができるように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ヘローツ / マーシャ・ダウエル

2月14日(金)

私たちの目を開いてください

聖書朗読 ヨハネの福音書9:35~41

「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」
ヨハネ 8:12

生まれつき盲目だった男性の話は、この後、感動的な対比を浮き彫りにします。癒しの力と霊的な盲目。信仰と恐れ。そして最後にイエス様の愛。イエス様に目を開けてもらった元盲人は会堂から追放されました。それを知ったイエス様は、彼を見つけ、肉体的な良い視力よりもっと良いものを見せてあげようと言われました。『あなたはその方(人の子)を見たのです。あなたと話しているのがそれです。』『私は盲目であったのに、今は見えるということです。』に、信仰の目を通して新しい意味が与えられました。

悲しいかな、パリサイ人は盲目のままでした。パウロはこう説明します。『この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。』さらに『「光が、やみの中から輝き出よ」と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。』(コリント II 4:4, 6)

イエス様の愛の光をしっかりと見ることが出来る人の顔ほど美しいものはありません。

われいましてに わが主をまつなり

主よ あたえたまえ さとりを —クララH・スコット*

(*編注: 聖歌《わが目をひらきて》の作者 1841-1897)

聖歌 195 わが目をひらきて

祈り お父様、私たちは盲目でした。しかし、あなたの愛で私たちは今見ることが出来ます。もっとはっきり見えるようにどうぞ助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 グランベリー / ジェーン・エバンズ

2月15日（土）

私たちの忠誠は何に捧げられていますか

聖書朗読 ヨハネの福音書 10：22～30

「私は話しました。しかし、あなたがたは信じないのです。私が父の御名によって行うわざが、わたしについて証言しています。 ヨハネ10：25

羊は羊飼いにとても忠実です。他の動物も同様ですね。羊飼いの声や身振りを理解し、その世話に頼って、外敵のいる環境で暮らしています。私たちもまさに羊のように、父なる神様を同じ信頼と忠誠を持って、理解することが大切です。

あなたは好きなスポーツチームに忠誠を表すかもしれません。あるいは母校やコミュニティにかもしれません。ご近所さんはあなたの車に貼ってあるステッカーや、前庭で風に揺れる旗を見て、あなたが何に忠誠を示しているかもう知っているかもしれません。しかし本当の意味の忠誠とは、どんなに大変な時でも、あなたは正しい行動ができると信じてもらえていることです。

あなたは天のお父様に同じ忠誠を持っていますか。もしそうであれば、日々のお祈りの中で悩み・心配事・失望を神様に伝え、聖書を読むことで知恵を求めましょう。神様の力が全てを支配していることをあなたは知るでしょう。羊が羊飼いの声に従うように、あなたは神様の声に従いましょう。なぜなら、神様はあなたにとっての最善を与えてくれるからです。人々はあなたが何に忠誠を尽くしているか、あなたの人生の歩み方が父なる神を証ししていることでわかります。

讃美歌 II 140 ながき道ひとり歩き

祈り 天のお父様、どうか私のわがままを消し去って、その代わりに私の人生があなたで満たされますように。私と共に毎日歩み、ただあなたのみへの献身と忠誠が私を見る者に示されますように。主イエス様のお名前によって。アーメン。



サウスカロライナ州 コロンビア / マーク・ヤング

2月16日（日）

もう臭くなっておりましょう

聖書朗読 ヨハネの福音書 11：38～44

「その石を取りのけなさい。」 ヨハネ11：39

『主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょうに。』イエス様の親しい友人から発せられたこの言葉は、イエス様の心に突き刺さるものであったに違いありません。そこで、奇跡を起こすお方は仕事に取りかかりました。それも皆と一緒にです！『その石を取りのけなさい。』群衆に少しばかりの抵抗はありましたが、すぐに主の指示に従いました。『ラザロよ。出て来なさい。』イエス様は墓地全体を起こさないように、ラザロだけ呼びました。

そしてイエス様は再度、群衆に指示を出します。『ほどいてやって、帰らせなさい。』4日前に死んだ人はどれほどの悪臭を放っているのでしょうか。布切れを取るように言われた人たちのことを想像してみてください。あなただったら出来ますか。

イエス様だけが死んだ人を蘇らせることができます。バプテスマという水の墓場から霊的に“よみがえらされた”者の中には、まだ古い自分から完全に変わっていない人がいるかもしれません。イエス様があなたの名を呼び、罪という古い自分を捨てきれない息子や娘を助けてあげるようにあなたに言われたとしたりびっくりしないでください。イエス様は神の御国のために、私たちすべてをお使いになられます。勇気を持って、困難にあっている人たちに奉仕する仕事を引き受けましょう。

聖歌 442 つみのふかみに

祈り 主よ、私たちにいのちをくださり感謝いたします。あなたが求めることを行動に移す勇気を私たちに与えてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



オクラホマ州 オクラホマシティ / ビル・アドコックス